

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	前期(前期前半)	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コ ード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 学校とICT教育				
	(英文名) School and ICT Education				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 竹口 幸志				
	(ローマ字) TAKEGUCHI Koji				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部1年次生～2年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1年次生～2年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため、 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連 携 大 学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1)ICT, (2)学校, (3)教育, (4)情報教育, (5)児童生徒 (1)Information and Communication Technology, (2)School, (3)Education, (4)Information Education, (5)Pupils				
21. 授業概要	児童生徒の情報行動の現状や学校におけるICT活用の状況について概観する。また、小学校、中学校、高等学校をはじめとした学校教育における情報教育の現状についても概説する。総じて、児童生徒のICT活用の現状を踏まえ、学校における情報教育とICT活用の今後の方向性について考える。				☐
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	・児童生徒の情報行動の現状について理解する ・学校におけるICT活用の現状について理解する ・学校教育における情報教育の現状について理解する ・学校における情報教育とICT活用の今後の方向性について考える				☐
23. 授業の到達目標 ／学修課題	・児童生徒の情報行動の現状について理解することができる ・学校におけるICT活用の現状について理解することができる				☐

	・学校教育における情報教育の現状について理解することができる ・学校における情報教育とICT活用の今後の方向性について考えることができる		
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）			
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 オリエンテーション 第2回 児童生徒の情報行動 第3回 学校におけるICT活用 第4回 小学校における情報教育 第5回 中学校における情報教育 第6回 高等学校における情報教育 第7回 学校における情報教育の課題と今後の方向性 第8回 まとめ		☐
27. 授業時間外学習にかかわる情報	学習習慣の定着と学習理解の促進のため、予習と復習を勧めます。 予習として、文部科学省の教育の情報化の推進サイト等、情報教育に関する情報を事前に読んでおくことをお勧めします。復習として、講義で学んだ内容を復習しておくことをお勧めします。		☐
28. 成績評価の方法と基準	成績評価の方法：試験、レポート 成績評価の観点：試験（学習到達度、主体的問題解決力等）、レポート（客観性、批判的思考、新規性、妥当性、論理的思考、文章表現力） 成績評価の基準：試験（60%）、レポート（40%） 注1：指定された期日を過ぎて課題（試験、レポート）を提出した場合、提出された課題は採点の対象外（加点しない）となります。必ず期日内に提出してください。 注2：試験、レポート、等の課題にはすべて解答してください。解答されていない箇所がある場合、当該箇所は採点の対象外（加点しない）となります。 注3：質疑や学習のフィードバック：適宜行いますが、内容に応じて回答に時間を要する場合があります。		☒
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	☐
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	e-Learning形式による授業のため基礎的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので、操作に不安がある場合は、所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。 なお、本講義は大学に設置される学生用のコンピュータールームでの受講を担保しています。家庭用パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合、不具合が生じる場合があります。 受講人数制限：あり 香川大学30名・徳島大学30名・鳴門教育大学30名・高知大学30名・愛媛大学30名		☒

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	受講期間について	教務または学習管理システム(Moodle)を通じて通達します。 受講期間を十分に確認して受講してください。			☒	
	学 習 管 理 シ ス テ ム (Moodle)における講義への自己登録について	履修登録に加えて、学習管理システム(Moodle)から講義の自己登録も必要となります。自己登録キーの受け取りと登録方法については、教務または担当教員にお問い合わせください。				
	受講の辞退について	受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学教務で手続きしてください。手続きが行われない場合、受講者として捉え、受講督促を行う場合があります。				
	禁止事項について	なりすましによる受講と受験、レポート盗用、コンピュータ内への動画の保存・蓄積、インターネット上への無断配信・共有、掲示板における教職員、学生への誹謗中傷等。これらの不正行為が発見された場合、大学の規定に基づき厳正に対処します。				
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書は特に指定しない。必要に応じて講義中に資料を配布する。					☐
	教科書1	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				☐
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	34. Webテキスト(URL・説明)	無し 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知ブラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/				
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	無し		☐	
37. 教員相互参観授業公開日程					☐	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。 【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。			☐	

		【技術的トラブル】は, 所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。	
	連携大学 学生向け	特に設けない。電子メール (ktakeguchi@naruto-u.ac.jp) で問い合わせてください。 【教務に関する質問事項】は, 所属大学の教務に問い合わせてください。 【技術的トラブル】は, 所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。	☐
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	☐
	連携大学 学生向け	Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	☐
40. 教員の実務経験について	無し		☐
41. バリアフリー対応	動画の音声を一部文字起こししたテキスト資料あり。		☐
42. その他／備考	無し		☐

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	教養基礎科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)絵本の研究 (英文名)Study of Picture Book				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)無し (英文名)無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語名)余郷裕次、平川恵実子 (ローマ字)YOGO YUJI、HIRAKAWA EMIKO				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必修区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	学部1・2・3年生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1・2・3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningの ため、曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	絵本 フロンタリティ 画面構成 色彩 モンタージュ picture book frontality screen structure color montage				
21. 授業概要	まず、主に絵本の絵について、我々が普段あまり意識しない部分、1. フロンタリティ(まるい大きな正面 顔) 2. 画面構成 3. 色彩 4. 絵本モンタージュについて分析する。 次に、絵本の読み聞かせにおける1. 右脳・左脳の関わり 2. 育児語motheries 3. スキンシップ 4. 視覚的共同注視について分析する。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	絵本のメカニズムを理解するとともに、絵本の読み聞かせの効果について理解する。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 絵本のメカニズムを理解する。 2. 絵本の読み聞かせの効果について理解する。 3. 絵本の読み聞かせと実践への意欲を醸成する。				☑

24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）			
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	○ 1回の授業の流れ1. 絵本の読み聞かせ 2. 絵本の分析① 3. 黙読の時間（15分間） 4. 絵本の分析② 5. 絵本の読み聞かせ ○ 1回目：フロンタリティ（まるい大きな正面顔）①／絵本『はじめまして』（ずずき出版） 2回目：フロンタリティ（まるい大きな正面顔）②／絵本『はらぺこあおむし』（偕成社） 3回目：画面構成①／絵本『にゃーご』（ずずき出版） 4回目：画面構成②／絵本『りんごがたべたいねずみくん』（ポプラ社） 5回目：色彩①／絵本『だるまちゃんとてんぐちゃん』（福音館書店） 6回目：色彩②／絵本『ぐりとぐら』（福音館書店） 7回目：色彩③／絵本『チリンのすず』（フレーベル館） 8回目：色彩④／絵本『やさしいライオン』（フレーベル館） 9回目：絵本モンタージュ①／絵本『でんしゃにのって』（アリス館） 10回目：絵本モンタージュ②／絵本『かいじゅうたちのいるところ』（富士房） 11回目：絵本モンタージュ③／絵本『11ぴきのねことあほうどり』（こぐま社） 12回目：右脳・左脳の関わり／絵本『バムとケロのにちようび』（文溪堂） 13回目：育児語motheries／『いつきよくいきまあす』（PHP出版） 14回目：スキンシップ／絵本『ともだちやシリーズ』（偕成社） 15回目：視覚的共同注視／絵本『バムケロシリーズ』（文溪堂）		☒
27. 授業時間外学習にかかわる情報	○ 「授業スケジュール」に示されている絵本を準備すると講義がよく分かる。 ○ テキスト『絵本のひみつ―絵本の知と読み聞かせの心―』を使って復習する。 ○ 1日1回鏡に向かって自分自身に絵本の読み聞かせを実践する。		☒
28. 成績評価の方法と基準	中間レポート(40%)と総括レポート(60%)によって評価する。		☒
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	☒
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限：あり 香川大学50名・徳島大学50名・鳴門教育大学50名・高知大学50名・愛媛大学50名		☒
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	○ 授業時間の中間に「黙読の時間」が設定されています。読む本は自由です。しかし、その時間中はその1冊のみを読みます。 ○ 「絵本の研究」の受講をきっかけとして、絵本も自身の読書生活に取り入れてください。		☒

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="373 159 517 353" rowspan="4">教科書1</td> <td data-bbox="517 159 676 203">書名</td> <td colspan="3" data-bbox="676 159 1414 203">絵本のひみつ―絵本の知と読み聞かせの心―</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 203 676 248">I S B N</td> <td data-bbox="676 203 948 248">978-4-88606-127-0</td> <td data-bbox="948 203 1107 248">著者名</td> <td data-bbox="1107 203 1414 248">余郷裕次</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 248 676 293">出版社</td> <td data-bbox="676 248 948 293">徳島新聞社他</td> <td data-bbox="948 248 1107 293">出版年</td> <td data-bbox="1107 248 1414 293">2010</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 293 676 353">金額</td> <td data-bbox="676 293 948 353">1,100</td> <td data-bbox="948 293 1107 353">備考</td> <td data-bbox="1107 293 1414 353"></td> </tr> </table>				教科書1	書名	絵本のひみつ―絵本の知と読み聞かせの心―			I S B N	978-4-88606-127-0	著者名	余郷裕次	出版社	徳島新聞社他	出版年	2010	金額	1,100	備考		☒																																		
教科書1	書名	絵本のひみつ―絵本の知と読み聞かせの心―																																																						
	I S B N	978-4-88606-127-0	著者名	余郷裕次																																																				
	出版社	徳島新聞社他	出版年	2010																																																				
	金額	1,100	備考																																																					
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="373 405 517 600" rowspan="4">参考書1</td> <td data-bbox="517 405 676 450">書名</td> <td colspan="3" data-bbox="676 405 1414 450">絵本のひみつⅡ―愛を届ける仕掛けとしての絵本―</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 450 676 495">I S B N</td> <td data-bbox="676 450 948 495">978-4-88606-159-1</td> <td data-bbox="948 450 1107 495">著者名</td> <td data-bbox="1107 450 1414 495">余郷裕次</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 495 676 539">出版社</td> <td data-bbox="676 495 948 539">徳島新聞社他</td> <td data-bbox="948 495 1107 539">出版年</td> <td data-bbox="1107 495 1414 539">2020</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 539 676 600">金額</td> <td data-bbox="676 539 948 600">1,100</td> <td data-bbox="948 539 1107 600">備考</td> <td data-bbox="1107 539 1414 600"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 600 517 795" rowspan="4">参考書2</td> <td data-bbox="517 600 676 645">書名</td> <td colspan="3" data-bbox="676 600 1414 645">絵本づくりトレーニング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 645 676 689">I S B N</td> <td data-bbox="676 645 948 689">978-4-480-87120-9</td> <td data-bbox="948 645 1107 689">著者名</td> <td data-bbox="1107 645 1414 689">長谷川集平</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 689 676 734">出版社</td> <td data-bbox="676 689 948 734">筑摩書房</td> <td data-bbox="948 689 1107 734">出版年</td> <td data-bbox="1107 689 1414 734">1988</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 734 676 795">金額</td> <td data-bbox="676 734 948 795">1,870</td> <td data-bbox="948 734 1107 795">備考</td> <td data-bbox="1107 734 1414 795"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 795 517 999" rowspan="4">参考書3</td> <td data-bbox="517 795 676 840">書名</td> <td colspan="3" data-bbox="676 795 1414 840">赤ちゃんは顔をよむ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 840 676 884">I S B N</td> <td data-bbox="676 840 948 884">978-4-04405-216-4</td> <td data-bbox="948 840 1107 884">著者名</td> <td data-bbox="1107 840 1414 884">山口真美</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 884 676 929">出版社</td> <td data-bbox="676 884 948 929">角川ソフィア文庫</td> <td data-bbox="948 884 1107 929">出版年</td> <td data-bbox="1107 884 1414 929">2013</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 929 676 999">金額</td> <td data-bbox="676 929 948 999">649</td> <td data-bbox="948 929 1107 999">備考</td> <td data-bbox="1107 929 1414 999"></td> </tr> </table>				参考書1	書名	絵本のひみつⅡ―愛を届ける仕掛けとしての絵本―			I S B N	978-4-88606-159-1	著者名	余郷裕次	出版社	徳島新聞社他	出版年	2020	金額	1,100	備考		参考書2	書名	絵本づくりトレーニング			I S B N	978-4-480-87120-9	著者名	長谷川集平	出版社	筑摩書房	出版年	1988	金額	1,870	備考		参考書3	書名	赤ちゃんは顔をよむ			I S B N	978-4-04405-216-4	著者名	山口真美	出版社	角川ソフィア文庫	出版年	2013	金額	649	備考		☒
参考書1	書名	絵本のひみつⅡ―愛を届ける仕掛けとしての絵本―																																																						
	I S B N	978-4-88606-159-1	著者名	余郷裕次																																																				
	出版社	徳島新聞社他	出版年	2020																																																				
	金額	1,100	備考																																																					
参考書2	書名	絵本づくりトレーニング																																																						
	I S B N	978-4-480-87120-9	著者名	長谷川集平																																																				
	出版社	筑摩書房	出版年	1988																																																				
	金額	1,870	備考																																																					
参考書3	書名	赤ちゃんは顔をよむ																																																						
	I S B N	978-4-04405-216-4	著者名	山口真美																																																				
	出版社	角川ソフィア文庫	出版年	2013																																																				
	金額	649	備考																																																					
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/				☐																																																			
35. パソコン必要度	必要		36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	☒																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程					☐																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	水曜日16:20～17:50			☒																																																			
	連携大学 学生向け	水曜日16:20～17:50			☒																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	gsxr1100@naruto-u.ac.jp			☒																																																			
	連携大学 学生向け	gsxr1100@naruto-u.ac.jp			☒																																																			
40. 教員の実務経験について	無し				☐																																																			
41. バリアフリー対応	講義内容はシラバス記載の教科書に準じます。				☐																																																			
42. その他／備考	無し				☐																																																			

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	前期(前期前半)	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 初等中等教育における情報活用能力育成				
	(英文名) Cultivation of Information Use Skills in Elementary and Secondary Education				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)無し				
	(英文名)無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 長井 映雄				
	(ローマ字) NAGAI Akio				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必修区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	学部1年次生～2年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1年次生～2年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのた め、曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1)情報活用能力, (2)情報教育, (3)学校教育 (1)Cultivation of Information Use Skills, (2)Information education, (3)School Education				
21. 授業概要	平成 29・30 年に告示された学習指導要領において、情報活用能力は言語能力、問題発見・解決能力と並ぶ「学習の基盤となる資質・能力」の一つと位置付けられた。本講義では、小・中・高等学校の各学校段階で育成される情報活用能力を体系的に整理するとともに、学校における情報教育の現状等についても概説する。				☐
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	学校教育において情報活用能力の育成が求められる背景を理解するとともに、今後の情報教育の方向性について考える。				☐
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. これまでの情報活用能力育成の経緯を説明できる。 2. 小・中・高等学校で育成が目指されている情報活用能力を説明できる。 3. 今後の情報教育の方向性、求められる資質・能力について説明できる。				☐

24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）			
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 オリエンテーション 第2回 初等中等教育における情報活用能力 第3回 小・中学校における情報活用能力育成① 第4回 小・中学校における情報活用能力育成② 第5回 小・中学校における情報活用能力育成③ 第6回 高等学校における情報活用能力育成① 第7回 高等学校における情報活用能力育成② 第8回 まとめ		☐
27. 授業時間外学習にかかわる情報	予習として、文部科学省「教育の情報化の推進」サイトを参考にするなど、事前に情報教育の動向を把握しておくことをお勧めします。		☐
28. 成績評価の方法と基準	成績評価の方法：試験（講義毎の小テストで評価する）、レポート（ディスカッションの内容、第8回の課題レポートで評価する） 成績評価の観点：試験（学習到達度、主体的問題解決力等）、レポート（客観性、批判的思考、新規性、妥当性、論理的思考、文章表現力） 成績評価の基準：試験（60%）、レポート（40%） 注1：課題の提出やディスカッション、小テストの受験をもって出席とみなす。 注2：指定された期日を過ぎて課題（試験、レポート）を提出した場合、提出された課題は採点の対象外（加点しない）となります。必ず期日内に提出してください。 注3：試験、レポート、等の課題にはすべて解答してください。解答されていない箇所がある場合、当該箇所は採点の対象外（加点しない）となります。 注4：講義毎に実施する小テストの未受験数が 3 回以上の場合は、合計得点に関わらず不可とする。		☐
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	☐
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	e-Learning形式による授業のため基礎的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので、操作に不安がある場合は、所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。 なお、本講義は大学に設置される学生用のコンピュータールームでの受講を担保しています。家庭用パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合、不具合が生じる場合があります。 受講人数制限：あり 香川大学30名・徳島大学30名・鳴門教育大学30名・高知大学30名・愛媛大学30名		☐

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	なりすましによる受講と受験, レポート盗用, コンピュータ内への動画の保存・蓄積, インターネット上への無断配信・共有, 掲示板における教職員, 学生への誹謗中傷等。これらの不正行為が発見された場合, 大学の規定に基づき厳正に対処します。				☐																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="371 405 517 600" rowspan="4">教科書1</td><td data-bbox="517 405 678 450">書名</td><td colspan="3" data-bbox="678 405 1414 450"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 450 678 495">I S B N</td><td data-bbox="678 450 954 495"></td><td data-bbox="954 450 1107 495">著者名</td><td data-bbox="1107 450 1414 495"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 495 678 539">出版社</td><td data-bbox="678 495 954 539"></td><td data-bbox="954 495 1107 539">出版年</td><td data-bbox="1107 495 1414 539"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 539 678 600">金額</td><td data-bbox="678 539 954 600"></td><td data-bbox="954 539 1107 600">備考</td><td data-bbox="1107 539 1414 600"></td></tr> </table>				教科書1	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐																																		
教科書1	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="371 651 517 846" rowspan="4">参考書1</td><td data-bbox="517 651 678 696">書名</td><td colspan="3" data-bbox="678 651 1414 696"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 696 678 741">I S B N</td><td data-bbox="678 696 954 741"></td><td data-bbox="954 696 1107 741">著者名</td><td data-bbox="1107 696 1414 741"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 741 678 786">出版社</td><td data-bbox="678 741 954 786"></td><td data-bbox="954 741 1107 786">出版年</td><td data-bbox="1107 741 1414 786"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 786 678 846">金額</td><td data-bbox="678 786 954 846"></td><td data-bbox="954 786 1107 846">備考</td><td data-bbox="1107 786 1414 846"></td></tr> <tr> <td data-bbox="371 846 517 1041" rowspan="4">参考書2</td><td data-bbox="517 846 678 891">書名</td><td colspan="3" data-bbox="678 846 1414 891"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 891 678 936">I S B N</td><td data-bbox="678 891 954 936"></td><td data-bbox="954 891 1107 936">著者名</td><td data-bbox="1107 891 1414 936"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 936 678 981">出版社</td><td data-bbox="678 936 954 981"></td><td data-bbox="954 936 1107 981">出版年</td><td data-bbox="1107 936 1414 981"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 981 678 1041">金額</td><td data-bbox="678 981 954 1041"></td><td data-bbox="954 981 1107 1041">備考</td><td data-bbox="1107 981 1414 1041"></td></tr> <tr> <td data-bbox="371 1041 517 1236" rowspan="4">参考書3</td><td data-bbox="517 1041 678 1086">書名</td><td colspan="3" data-bbox="678 1041 1414 1086"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 1086 678 1131">I S B N</td><td data-bbox="678 1086 954 1131"></td><td data-bbox="954 1086 1107 1131">著者名</td><td data-bbox="1107 1086 1414 1131"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 1131 678 1176">出版社</td><td data-bbox="678 1131 954 1176"></td><td data-bbox="954 1131 1107 1176">出版年</td><td data-bbox="1107 1131 1414 1176"></td></tr> <tr> <td data-bbox="517 1176 678 1236">金額</td><td data-bbox="678 1176 954 1236"></td><td data-bbox="954 1176 1107 1236">備考</td><td data-bbox="1107 1176 1414 1236"></td></tr> </table>				参考書1	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐
参考書1	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
参考書2	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
参考書3	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
34. Webテキスト(URL・説明)	無し 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知ブラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/				☐																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	☐																																																				
37. 教員相互参観授業公開日程					☐																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。電子メール(akionagai@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。 【教務に関する質問事項】は, 所属大学の教務に問い合わせてください。□ 【技術的トラブル】は, 所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください			☐																																																			
	連携大学 学生向け	特に設けない。電子メール(akionagai@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。 【教務に関する質問事項】は, 所属大学の教務に問い合わせてください。□ 【技術的トラブル】は, 所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください			☐																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	akionagai@naruto-u.ac.jp			☐																																																			

	連携大学 学生向け	akionagai@naruto-u.ac.jp	☐
40. 教員の実務経験 について	県立高等学校の情報科担当教員として教壇に立った経験のある教員が、情報教育の現状と今後の方向性等について理解を深めさせる授業を行う。		☐
41. バリアフリー対応	動画の音声の一部文字起こししたテキスト資料(PDF)あり		☐
42. その他／備考	無し		☐